



## 団体紹介

所在地：福島県福島市

団体の設立目的：東日本大震災により、多くの人々が避難生活を余儀なくされている。被災者の継続的な支援、様々なニーズ対応、その活動に関わった学生の受け皿となることを目的に団体を設立した。

主な活動：仮設住宅でのコミュニティ形成支援、コミュニケーション支援

津波被災地での片付け作業、農地再生活動

子どもたちのキャンプ活動

## 恒常的な活動

サロン活動(傾聴活動)…足湯活動、健康体操、お茶会など仮設住宅で恒常的に行う傾聴活動。住民の方々と交流、対話することで信頼関係の創造。仮設生活で困っていることのニーズを拾い、今後の活動目標の設定。

私たちが元気を  
もらってます！

## いるだけ支援

仮設住宅に居住しながら簡易な生活支援・声掛けをし、引きこもり防止に寄与する活動。学生が仮設住宅に居住することで、各年代の対話場面や居場所をつなぎ、「世代間交流」を創造。



## 夏のキャンプ企画

### ① 集まれ！ふくしま子ども大使

全国から小学生を福島県に招待し、全国の子どもたちと福島の子どもたちの交流を支援し、大人になっても続く関係づくりをする。災害の風化抑制、福島の安全性をPRする活動。

### ② ふくしま子どもネイチャリングキャンプ

福島県内の小学生を対象にした自然の力を体感できるキャンプ活動。子どもたちに福島県の豊かな自然の中でのびのび活動してもらい、かつ主体的に新しいことにチャレンジできるプログラムとなっている。このキャンプを通して子どもたちがこれから行きぬくリーダーシップの育成を図る。

